予防医学への注目が集まる中、

07年10月、

学アンチエイジングセンターの各研究室の 増進への貢献を目指す。今回から、近畿大 からサポートすることで、国民の健康保持・ を開設。「産」の取り組みを、「学」の立場 近畿大学では「アンチエイジングセンター

## 載

2008年(平成20年)4月15日



アンチエイジングセンター開設記念公開講座

抗加齢」 市民の要望に応えるために 近畿大学アンチエイジングセンターの取り組み①

● 近畿大学アンチエイジングセンター センター長 掛樋一晃

めの予防医学が、究極の 医療として注目されてい かった病気にならないた 性疾患の予防へと進みつ とする最先端医療、そし の医療から個への医療を まり顧みられることがな 目指す再生医療をはじめ 目覚ましく、万人のため つあります。これまであ (生活習慣病などの難治

昨今の医療の発達は す。 ティア戦略として「食の け は ん克服力」「メタボリッ 選択力」「心の健康力」「が このような要望を受 切実なものがありま 国は新健康フロン 市民の皆様の希望 り、健康で豊かな と考えておられる 老後を過ごしたい 社会を迎えつつあ 日本は超高齢化

21世紀を迎え、 が進み、抗加齢医学と呼 れています。 ばれる予防医学が注目さ 健康状態、②健康を保持 老後を過ごすための研究 特に、①自分の現在の

ます。

メント、④健康を保持す を保持するためのサプリ するための食事、③健康 い興味が寄せられていま るための運動、などに強 こうしたなか、近畿大

する要望をうかがうこ 況でした。健康保持に対 加していただき、大変盛 以上の市民の皆様に参 催しましたが、500~ 民対象の公開講座を開 ンターは、昨年10月に市

みを、「学」の立場から 市民の健康の保持・増進 に対する「産」の取り組 アンチエイジングセ

(\)

とができましたが、世界

り組みをご紹介します。 エイジングセンターの取

アンチエイジングドック イジングドックでは、 図] をご覧くださ

因と考えられる加齢マー 膚科山田秀和教授が中 カーによる健康度を測 心となって、老化の原 院に設置したアンチエ 医学部附属奈良病

定(チェック)します。 聖品

います。

な青ウンシュウミカンの ファーマ近大から、未熟 4つのベンチャー企業の に近畿大学が出資する つである株式会社ア・ その成果として、 (ブルーへスペロ

血圧のコン 病のひとつど ていますの 発症高血圧 いる研究の多くは、自然 しして重要な て、生活習慣 フットを用い ロールが期

待されています。 (掛樋) は

資源を探索し、その有効 疾患の治療薬やヘルスケ 現地調査を通じ、 成分の研究に取り組んで ア素材の候補となる天然 難治性

を中心とする 加齢を目指 は、栄養学の

ています。 ト類の開発 村上教授が か実施されて 評価を続け

期間にわたる極めて精加齢、老化現象は、長 緻な身体のバランス変 広い共同研究が必要で り、異分野の研究者の幅 化ととらえるべきであ

題になって 疲弊と、それに伴う砂漠 されています。 指しています。 大な交流事業 した中国の産官学との壮 に防止と砂漠緑化を目指 この事業は、中国で問 農学部の村上哲男教授 いる農耕地の 表として 注目

するためにその品質評 信頼できる健康食品や 品も少なくありません。 サプリメント類が氾濫 開発を実施しています。 価を受託しています。 サプリメント類を提供 センターでは、皆さんに けて多くの健康食品や 国民の健康志向を受 健康被害を起こす製

の観点から抗

て動物実験

るサプリメン

宰教授: 松田秀秋 用資源学研究室(主 \*次回は、薬学部薬 氏)の取り組みをご

紹介します。

## の取り組みを 学は、医学部奈良病院、 で最も高齢化が進みつ 学 の立場からサポ 各種の加齢マーカーの ンキンダイ)を上市して

【図 1】アンチエイジングドックの概要 健康を保持し元気な チェック 加齢マーカーを指標とした診断 3Cの実践 献します。また、 ケア キュア 健康指導, 栄養指導 長期スパンでの治療支援

を有効に利用し 織の教員が持つ それぞれの組 増進や保持に貢 資源や知的財産 /index.html)° ac.jp/antiaging 市民の健康 【図 2】アンチエイジングセンターの役割 フィードバック 脂肪組織由来幹細胞バンク 新たな加齢マーカーの探索 および測定手法の確立 の設立およびその利用 アンチエイジング ドック バイオマーカーを指標とした アンチエイジング医薬品・サプリメント開発

います。

以上のような状況か

日本において、国民が健 齢化社会を迎えつつある

康で豊かな老後を過ごす

ために特に重要視されて

戦」のために多くの施策 げて、「健康国家への挑

を打ち出しています。

これらの施策は、超高

性の健康力」の目標を掲

ター」を設置しました

「アンチエイジングセン

課題であることを改め

さまざまな取り組みは エイジングセンターの 抗加齢を目指すアンチ つあるわが国において、

教員による栄養指導、

部の村岡修教授らは、

薬学総合研究所•薬学

国タクラマカン砂漠の紅

測定結果をもとに、医師

います。

による健康指導、農学部

要かつ緊急性の高い

リメント指導などを通じ して薬剤部によるサプ

柳による緑化事業と紅柳

に寄生するカンカのサブ

し皆様の日常生活のケア

て認識しました。

(Care) を考えます。

さらに、5年後あるい

人パンで<br />
皆様の<br />
健康を<br />
サ は10年後を見据えて長期

(Cure) します

以下、近畿大学アンチ

(http://www.kindai.

介護予防力」そして「女

などが中心となって、 健康スポーツセンター 所、農学部食品栄養学科、

-ツカ」「歯の健康力

クシンドローム克服力」

薬学部、

薬学総合研究

医学部奈良病院薬剤部、

子どもの健康力」「ス

その成果 センターの学際的研究と 【図2】をご覧くださ

を過ごしていただきたい

に健康で豊かな日常生活

図1 に示した30の 会践により、市民の皆様

と考えています。

薬品およびサプリメント 索やアンチエイジング医 新たな加齢マーカーの探 見やノウハウを生かし、 ケアを通して得られた知 い。ドック受診の皆様の の開発を医・薬・農が連 して推進します。

例えば、薬学部の松田

事業化を目

リメントへの

糖類の分析学的研究を 分析機器の開発研究や 医薬品素材の評価法の 託を受けて食品素材や 公的機関からの受託・委 基盤として、メーカーや

いただきました。数回に 用化しなければなりませ 術は産官学の連携で、実生まれます。生まれた技 間で共有し詳細に解析す 紹介させていただきたい わたってその取り組みを 組みをご紹介する紙面を んが、近畿大学アンチエ 立てるための基盤技術が 様の健康保持、増進に役 ることにより、市民の皆 イジングセンターの取り になった成果を、研究者 と 考えています。